

登録鉄筋基幹技能者講習に 44 人が受講

全国鉄筋工事業協会 10月20～22日（エル・おおさか）

（社）全国鉄筋工事業協会（全鉄筋、内山聖会長）は10月20日～22日の3日間、大阪府中央区のエル・おおさかで「第31回登録鉄筋基幹技能者講習」を開催しました。大阪での開催は4月に続いて2回目となる今回の講習には44人が受講し、登録基幹技能者の資格取得をめざしました。

講習初日の20日に行われた開講式では、開催地の組合を代表して関西鉄筋工業協同組合の岩田正吾理事長が挨拶し「当組合では意見交換の場などを通じ近畿地方整備局に対して、登録基幹技能者の配置を仕様書に明記するよう要望している。また、第三者から見れば職人の価値を判断する材料は資格しかない。皆さんもこうした意識をもって3日間の講習を有意義なものとしてほしい」と激励しました。

3日間の講習では、伊藤英章氏（静岡・伊藤鉄筋工業社長、技術・教育訓練委員会委員）、酒見荘次郎氏（シグマ技研社長）、田村晃一氏（関西・田村工業常務）、長木鉄次氏（関西・長木鉄筋社長）、恵谷信氏（関西・恵谷鉄筋社長）が講師を務め、基幹技能者制度をはじめ関連法規、施工管理、品質管理、事務管理、資材管理、原価管理、工程管理、安全管理、OJTなどについて講義が進められました。最終日には修了試験が行われました。

なお、今年6月末現在の登録鉄筋基幹技能者の数は全国で1684人で、このうち近畿では大阪府200人、兵庫県53人、京都府2人、奈良県4人、和歌山県5人、滋賀県0人となっています。

次ページ参照

